

キャラクター名

プレイヤー名

雨田千里

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	UGNエーエージェントD	カヴァー	高校生
	ブラックドッグ					
オブショナル			年齢	17	性別	♀
覚醒	感染	衝動	恐怖		初期侵食率	34%
出自	安定した家庭	経験	大きな転機		邂逅	貸し

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	65
肉体	4	0	0			4	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	0	1	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	9		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	2		調達	1	
運転：			芸術：			知識：レネゲイド	2		情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
カジュアル	
携帯電話	
制服	
思い出の一品	
コネ：UGN幹部	
専門家：レネゲイド	

合計装甲：	0	合計回避：	0
-------	---	-------	---

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
No.03 変異種 (ブラックドッグ)	P	N		
福来セレン	P 庇護	N 食傷		
黒川海里	P 信頼	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P:	4	残り財産P：	0
--------	---	--------	---

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセントレイト：ブラックドッグ	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：組み合わせた判定のC値-LV（下限7）								
イオノクラフト	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：飛行状態で移動（移動距離+LV*2m）								
雷の加護	5	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：メインプロセス中判定D+LV								
電磁障壁	1		オート	至近	自身	自動		
効果：ガード値+4d								
ペインエディター	7	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：HP+LV*5								
マグネットフォース	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：カバリングを行う								
マグネットムーブ	1	3	イニシアチブ	効果参照	単体	自動	80	
効果：LV*10m以内の対象を自分のエンゲージへ移動する								
フルインストール	5	5	イニシアチブ	至近	単体	自動	100	
効果：そのラウンド中のあらゆる判定ダイス+LV*3								
雷鳴の申し子	1	5	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：与ダメージ+([最大HP]-[現在HP])、メインプロセス終了時にHP0になる								
降魔の雷	5	4	メジャー	視界	-	RC	リミット	
効果：射撃攻撃LV*4(ドッジD-2)								
ショート	1	-	メジャー	視界	効果参照	自動	-	
効果：機械を一つ破壊する								
電波障害	1	-	メジャー	視界	シーン	自動	-	
効果：無線電波を妨害する								
効果：								

「あなたの生死になんてどうでもいいけどさあ！ わたしの知らないところで死んでくれる！？」

うだ・せんり。市内の高校に通いつつエーエージェントとしての任務をこなす、明日支部所属のUGNエーエージェント。中学に上がったばかりの頃に突発的なジャーム暴走事故に巻き込まれたことによって覚醒し、一時イリーガルとして過ごしつつも半年ほど前にUGNの傘下に加わった。当人はそれほどUGNとしての任務に熱を上げていないが、能力の制御がそれほど得意でなく自身をも傷つけてしまうことと変異種としての希少性を危険視されたこともあり、面倒に巻き込まれないためとなし崩し的に従っている。しかし自分を助けたエーエージェントの姿にほかに憧れを抱いていることもあり、この力で助けられる人がいるならば消極的にはあるものの助けたい、というレベルでのモチベーションはある。「見たり知り合ったりして見殺しにしたら気分悪いじゃん！」というが彼女の言。

体内の発電細胞の活性化・電磁場の操作に能力のすべてが注がれており、もはや自然現象としての「雷」を発することが可能。しかしその雷を`自在`に操るとまではいかないため、彼女自身はあまり能力を使いたがらない。周囲への被害が拡大することはもとより、雷は彼女の身さえも容赦なく焼くためだ。また常に電磁波を発しているため彼女の周りでは電子機器が頻繁に故障し、自身もオーヴァード用の携帯端末でなければまともに使用できない。可愛いデザインがないと嘆くのがいつものことである。